

# 紙の電子化、その前に

～電子化へのアウトライン～

アンテナハウス株式会社

システム営業グループ

太田 貴之



# 電子化の話は進む



- ▶ 確定申告や行政への申請もペーパーレス
- ▶ 通帳をなくし、Web明細への移行
- ▶ オンラインストアでの商品購入はもう当たり前
- ▶ 携帯電話の支払口座の変更もアプリからできる
- ▶ PCソフトはダウンロード版、クラウド版が普及
- ▶ 電子書籍で本棚を持ち歩く
- ▶ オンラインでスケジュール管理 など



## しかし周りを見てみると・・・



- ▶ 今なお動き、書面を印刷し続けるFAX
- ▶ 重要度も高いまま生き残る通帳
- ▶ 行政への申請も紙前提で、電子は特例
- ▶ すべての本が電子化しているわけではない
- ▶ レビュー合戦等によるオンラインストアの敬遠
- ▶ 今なお新商品が登場し、売れ続ける紙の手帳 など



# 業務を電子化したい。とはいえ・・・

- ▶ 印刷費用や管理コストの削減
- ▶ 業務スピードの向上や対応速度の迅速化
- ▶ 業務プロセスの見える化、PDCAサイクル



- ▶ 社内の運用体制や社内規定の変更が必要
- ▶ システム導入に安くはない金額が発生
- ▶ 法律が絡むものはおいそれと電子化できない



# では、どうするか

- ✓ ツールで解決できるところから始める
- ✓ スモールスタート、要は小さく始める
- ✓ 影響や負担が少ないところから始める

⇒ 社内書類のPDF化、提出書類のPDF化



# 提出書類のPDF化を考えると・・・

- ▶ 紙で提出していたものをPDFで提出する
- ▶ やり方は分かっているので、対応策を出しやすい



- ? 指定したファイルサイズに分割すること
- ? PDFには必ずしおりを付けること
- ? しおりは章・節・項の3レベルで作ること



# 参考) そもそもしおりって？

- ▶ しおりは紙の冊子における目次と同じように構成されたブックマーク。アウトラインともいう。
- ▶ PDF本文に付けられている見出しをピックアップして、見出しの階層構造を表すように構成するのが基本
- ▶ 右図では、しおりの大見出し（章）、中見出し（節）、小見出し（項）とする見出しのツリーを構成している
- ▶ 見出項目をクリックすると、画面がPDF本文の見出しの位置に移動する

しおりの階層 (ツリー)	PDFのページ
しおり <ul style="list-style-type: none"><li>第1章『アウトライナー-2.5』鋭意開発中<ul style="list-style-type: none"><li>1.1『アウトライナー』が復活します。<ul style="list-style-type: none"><li>Windows10などの最新 OS に対応</li></ul></li></ul></li></ul>	<p><b>大見出し</b></p> <p>第1章 『アウトライナー-2.5』鋭意開発中</p> <p><b>中見出し</b></p> <p>1.1 『アウトライナー』が復活します。</p> <p>『アウトライナー』はPDFのしおりと目次の作成やページの移動・削除などに大変便利なプロフェッショナル向けPDF加工ツールです。しおりを作成する操作性は群を抜いて便利です。最終バージョンは『アウトライナー-2』で、2018年5月15日をもって販売を終了、2018年11月2日をもってユーザーサポートを終了させていただいております。</p> <p>「アウトライナー」は多くのユーザーに、長らくご愛顧いただいております。後継製品のご要望を賜りました。この度『アウトライナー-2.5』として、販売を再開する運びとなりました。『アウトライナー』と『アウトライナー-2.5』の相違点</p> <p><b>小見出し</b></p> <p>Windows10などの最新 OS に対応</p> <p>『アウトライナー-2』はWindows10では動作しません。「しおり」と「目次」の自動解析エンジンを刷新アウトライナー-2はRTFJ (Rich Text Format Japanese) ベースの解析エンジンです。アウトライナー-2.5はAntenna House PDFXML ベースの解析エンジンです。</p> <p>1</p>



# 例えばこんな方法、『アウトライナー』の場合

- ▶ 範囲指定するだけで、しおりを作成。本文のテキストや目次を解析しての自動生成も可能
- ▶ ファイルサイズ、ページ単位を指定してPDFを分割
- ▶ 分割したPDFにしおりも文書情報も引き継げる
- ▶ 複数のPDFを一括結合して1つのPDFファイルに
- ▶ 1本で48,000円なので、取りやめるときもダメージが少ない

The screenshot displays the Outliner2.6-tset-file.mup application window. The main interface shows a grid of PDF thumbnails with red circles highlighting '分割ポイント' (split points) on pages 1 and 4. A file tree on the right lists document sections like 'レスポンス', 'リクエスト', and 'JSON Web Token'. A dialog box titled '一括結合' (Batch Merge) is open, showing a list of files with checkboxes and a '結合回数' (Merge Count) column. A red arrow points to the '結合回数' column with the text '上下の矢印で、選択したファイルに対して結合順を変更' (Use the up/down arrows to change the merge order for the selected files). At the bottom of the dialog, a red circle highlights the '実行' (Execute) button, with a callout box saying 'ファイル名をつけて保存' (Save with filename). Another dialog box in the background shows a message: 'アウトライン自動生成処理が完了しました。出力件数: 62件' (Outline automatic generation processing is complete. Number of output items: 62 items).



## まとめると、電子化のアウトラインとは

- ✓ ツールで解決できるところから始める
- ✓ スモールスタート、要は小さく始める
- ✓ 影響や負担が少ないところから始める



PDFに関しては、アンテナハウスまで



ご静聴ありがとうございました  
PDFについてご質問ありましたら

- 発表者：
- アンテナハウス株式会社
- システム営業グループ 太田 貴之
- [sis@antenna.co.jp](mailto:sis@antenna.co.jp)

